

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																												
東京ベルエポック美容専門学校	平成20年10月31日	川戸 功一	〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目24番16号 (電話) 03-5658-9090																												
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																												
学校法人滋慶学園	昭和58年12月23日	浮舟 邦彦	〒134-0084 東京都江戸川区東葛西6丁目16番2号 (電話) 03-5878-3311																												
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																											
文化・教養	文化・教養専門課程	ヘアメイク科	平成31年文部科学省告示号外第15号	-																											
学科の目的	クライアントの要望を的確に把握し、対応できる技術とともに、流行を敏感に察知でき、美容業界で活躍できる人材になる。																														
認定年月日	平成29年4月1日																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																								
2年	昼間	114単位	10単位	232単位	0単位	0単位	0単位																								
単位																															
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																										
200人	213人	0人	6人	25人	31人																										
学期制度	<b>前期:</b> 4月1日～9月30日 <b>後期:</b> 10月1日～3月31日			成績評価	<b>成績表:</b> 有 <b>成績評価の基準・方法</b> 定期試験及び臨時試験(論文・レポート含む)、平素の学習状況、出席状況の3要素で評価。A～Fで行う。																										
長期休み	<b>学年始:</b> 4月1日 <b>夏季:</b> 7月第4週～8月第4週 <b>冬季:</b> 12月第4週～1月第1週 <b>学年末:</b> 3月第3週～3月第4週			卒業・進級条件	学校長及び学校長が指名した者により構成される卒業進級評定会議を開催し、成績評価のD以上の者を合格とし進級、卒業を認定する。																										
学修支援等	<b>クラス担任制:</b> 有 <b>個別相談・指導等の対応</b> 個別カウンセリング、保護者連携			課外活動	<b>課外活動の種類</b> ボランティア・学園祭等の実行委員会・学生スタッフ活動 アシスタント現場活動・学校行事実行委員会 <b>サークル活動:</b> 有 <b>国家資格・検定/その他・民間検定等</b> (令和4年度卒業者にに関する令和5年5月1日時点の情報)																										
就職等の状況	<b>主な就職先・業界等(令和3年度卒業生)</b> ヘアメイク事務所、美容室、ヘアリッシュサロン			主な学修成果(資格・検定等)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JESCメイクアップアーティスト検定</td> <td>③</td> <td>93人</td> <td>89人</td> </tr> <tr> <td>JNECネイリスト技能検定3級</td> <td>③</td> <td>98人</td> <td>93人</td> </tr> <tr> <td>着付け(初級中級)</td> <td>③</td> <td>101人</td> <td>101人</td> </tr> <tr> <td>おもてなしマスター検定</td> <td>③</td> <td>99人</td> <td>98人</td> </tr> <tr> <td>色彩活用パーソナルカラー検定3級</td> <td>③</td> <td>65人</td> <td>51人</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	JESCメイクアップアーティスト検定	③	93人	89人	JNECネイリスト技能検定3級	③	98人	93人	着付け(初級中級)	③	101人	101人	おもてなしマスター検定	③	99人	98人	色彩活用パーソナルカラー検定3級	③	65人	51人
	資格・検定名	種	受験者数		合格者数																										
JESCメイクアップアーティスト検定	③	93人	89人																												
JNECネイリスト技能検定3級	③	98人	93人																												
着付け(初級中級)	③	101人	101人																												
おもてなしマスター検定	③	99人	98人																												
色彩活用パーソナルカラー検定3級	③	65人	51人																												
<b>就職指導内容</b> 業界・企業によるセミナーを実施し、個別面談を通して一人ひとりの希望にあった求人を紹介、指導 <b>卒業生数</b> : 70 人 <b>就職希望者数</b> : 67 人 <b>就職者数</b> : 67 人 <b>就職率</b> : 100 % <b>卒業者に占める就職者の割合</b> : 95.7 % <b>その他</b> ・進学者数: 0人 ・留学生(帰国): 0人 (令和4年度卒業者にに関する令和5年5月1日時点の情報)			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																												
中途退学の現状	<b>中途退学者</b> 12名 令和4年4月1日時点において、在学者182名(令和4年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者168名(令和5年3月31日卒業者をを含む) <b>中途退学の主な理由</b> (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 目的意識喪失、進路変更、他 <b>中退防止・中退者支援のための取組</b> (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等 中退防止:学生サポートアンケートによる個々の状況把握、個別カウンセリング実施、カウンセラー配置 中退者支援:転校・転科支援			<b>中退率</b> 6.6%																											
経済的支援制度	<b>学校独自の奨学金・授業料等減免制度:</b> 有 希望者に対し特待生試験を実施し、採用者には授業料の一部を減免している。また、グループ校卒業生・兄妹姉妹グループ校卒業生に対し初年度のみ授業料10万円免除している。(家庭の経済状況は考慮していない) <b>専門実践教育訓練給付:</b> 非給付 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																														
第三者による学校評価	<b>民間の評価機関等から第三者評価:</b> 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																														
当該学科のホームページURL	<a href="https://www.tbe.ac.jp/course/hairstyle">https://www.tbe.ac.jp/course/hairstyle</a>																														

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

卒業後に業界と直結した職業人教育を行うために、ともに即戦力となるスペシャリストを育成することを目的としている。現場経験、講師経験豊富な企業と連携し教育を提供。カリキュラム、授業手法等、教材作成等の助言の協力が得られる体制がとれる企業を選定。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教務組織規則において、「委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を十分に活かし、実践的かつ専門的な職業教育を実践するにふさわしい教育課程の編成に努める」ことが明記されている。これらに基づき、カリキュラム検討会議で審議し、学校長許可を経て決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年5月22日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
如月 音流	世界コスプレ技術検定協会 理事	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	①
秋山 貴和子	株式会社Smart1Beauty 代表取締役	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
松本 江里子	M'S株式会社 DIRECTOR・MANAGER	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
古島 暉大	学校法人滋慶学園 常務理事	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	
川戸 功一	東京ベルエポック美容専門学校 学校長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	
三井 真以子	東京ベルエポック美容専門学校 運営本部長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	
中村 聖之	東京ベルエポック美容専門学校 事務局長	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	
仁藤 都	東京ベルエポック美容専門学校 ヘアメイク科リーダー	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(5月、10月)

(開催日時)

2022年度 第1回 令和4年6月15日 13:00～15:00実施

2022年度 第2回 令和4年10月28日 13:00～15:00実施

2023年度 第1回 令和5年5月22日 10:00～12:00実施

2023年度 第2回 令和5年10月24日 10:00～12:00(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

コロナ禍で多様化した現場が増えている中、技術知識はもちろんどんな環境にも適応できる力、対応力、プレゼンテーション能力が求められている。「プロフェッショナルへの道」授業では、授業形態を一方向的に伝えるだけでなく、グループワークなどでひとりひとりが話す機会、プレゼンテーションをする機会を取り入れ行った。どんな現場にも柔軟に対応できるよう時代に即したキャリア教育と同時に作品を多く生み出す創造性を養う。委員の改善案については、カリキュラム会議を学内で実施・決定後、教育課程編成委員会にて共有、ご意見を頂戴しながら実施していく。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針  
 本校は卒業後に業界と直結した職業人教育を行うために、業界と連携し、ともに即戦力となるスペシャリストを育成することを目的としている。そのため、特に演習科目においては現場で活躍するプロが講師として授業を行っている。卒業後即戦力として活躍できる人材を養成するための授業内容を、業界関係者とともに企画立案・実施達成度評価を行う。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容  
 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記  
 業界の求める技術・知識水準を指導できる講師を連携企業から派遣してもらう。事前に学科長と連携企業の講師が授業前に、授業内容、評価等について定める。  
 連携企業講師には、シラバスの策定、試験の実施、評価まで行ってもらう。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
メイクアップ総論Ⅱ	似合うメイクを提案できるようになる。全日本化粧品販売員検定ブロンズ合格を目指す。	一般社団法人 コスメティックアクターアカデミー 全国化粧品販売検定協会
アシスタントプログラムⅠ・Ⅱ・Ⅲ	ヘアメイク業界について学び、現場に行けるために技術・知識を身に着ける	株式会社ビーサイド
スチールヘアメイクⅡ・Ⅲ	ヘアメイクの職業に就くに辺り、必要なヘアメイク技術・知識を習得する。基礎的な技術を始め、美容のプロになるための心得を習得する。	株式会社テーブルカンパニー
特殊メイクⅠ・Ⅱ	傷や骨格補正等の特殊メイクが出来るようになる。また、エアブラシの基本技術を学び、メイクやボディペイントに生かすことが出来る。	有限会社ビアルケミスト
デザインヘアメイク	創造したイメージをヘアメイクを通じてデザイン出来るようになる。	一般社団法人 コスメティックアクターアカデミー 全国化粧品販売検定協会

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針  
 指導力の修得・向上のための研修等として、滋慶教育科学研究所が実施する研修にて1年目向け、2～3年目向け、4～5年目向け等、段階を踏んで計画的に参加をしている。また専攻分野における実務に関する研修等に関しては担当する教員が最新の情報、技術が得られるよう研修に参加することを基本方針とする。

(2) 研修等の実績  
 ① 専攻分野における実務に関する研修等  
 専任職員を対象に専門分野の研修を受講している。  
 ■ 研修名：「韓国美容の現状について」(連携企業等：韓国ビューティ産業研究所 )  
 ■ 講師：ビューティ研究所 所長 宋  
 ■ 期間：令和4年9月29日(木)15時～17時  
 ■ 対象：専任教員  
 ■ 内容：韓国美容業界

## ②指導力の修得・向上のための研修等

### <学内研修>

#### ■教務研修

- ・年間6回の教務研修を各回1日間で実施（実施月：4月、5月、7月、10月、1月、1月）
- ・対象：全教務職員
- ・内容：教務研修各時期に応じた学生支援についての研修  
4月：成年年齢とトラブルについて、5月：心肺蘇生法・AEDの使用法（公益財団法人ライフセービング協会）  
7月：夏休みシンドローム対策

#### ■講師研修

- ・年間2回の講師研修を実施（実施月：3月15日、8月18日）
- ・対象：全講師
- ・内容：学科の養成目的に合わせた教授内容の確認  
3月：年間授業構成と教授内容の確認（実技内容の確認を含む）  
8月：国家試験対策の方針と内容確認

### <学外研修>

教授力、指導力の向上を目的とする研修については一般財団法人 滋慶教育科学研究所と連携し、個々の教育経験、在職期間等を考慮し、それぞれの対象に応じた教職員の研修を行い、研究にも参加している。

- ・年間10回の教育研修を実施（実施月：3月、5月、7月、9月、11月、1月）
- ・対象：教務職員を対象に勤続年数、職位別に実施
- ・内容：職位別教授技法研修  
3月：FDマイクロレベル研修（新入職員対象）、5月：FDマイクロレベル〈レベルアップ〉研修、  
5月：FDマイクロレベル〈クラスマネジメント〉研修（学科職員対象）  
7月：FDミドルレベル研修（学科責任者対象）、FDマイクロレベル研修（学科責任者対象）、  
7月：コーチング研修（学校学科責任者）  
9月：カウンセリング研修（新入職員・入職2年目職員対象）、  
11月：キャリア教育カウンセラー研修（学科責任者）、フォローアップ研修（入職2年目）  
1月：キャリアインストラクター研修、キャリア教育アドバンス研修（各部署責任者）

## (3) 研修等の計画

### ①専攻分野における実務に関する研修等

美容業界において、SNSは情報発信や顧客との接触を促進する協力的なツールとなっているため、専任教員を対象に研修を計画している。

- 研修名：SNS研修
- 講師：大久保翔太
- 連携企業等：Uniiique
- 期間：令和6年6月10日（月）
- 対象：専任教員
- 内容：美容業界におけるSNSの活用について学ぶ

## ②指導力の修得・向上のための研修等

### <学内研修>

- ・年間6回の教務研修を各回1日間で実施（実施月：4月、5月、7月、10月、1月、2月）
- ・対象：全教務職員
- ・内容：各時期に応じた学生支援についての研修
- ・受講研修一覧
  - 学生キャリアサポートアンケートを活用し学生支援体制を創る  
期間：2023年7月10日  
講師：中村聖之（東京ベルエポック美容専門学校 事務局長兼教務部長）  
本校受講教員：16名  
内容：夏休み明け学生支援・援助方法についての検討
  - 学生指導におけるコーチング方法1  
期間：2023年10月16日  
講師：稲垣友仁（株式会社コーチングシステムズ）、稲垣陽子（株式会社コーチングシステムズ）  
本校受講教員：16名  
内容：共生コーチングによる人的支援方法を学ぶ
  - 学生指導におけるコーチング方法2  
期間：2023年12月11日  
講師：稲垣友仁（株式会社コーチングシステムズ）、稲垣陽子（株式会社コーチングシステムズ）  
本校受講教員：16名  
内容：学生支援におけるコーチングの活用方法と実務方法について学ぶ

<外部研修>

一般社団法人 滋慶教育科学研究所と連絡し、教授方法、学生支援・指導方法に関する種々の研修に参加をしていく。

・年間10回の教育研修を実施（実施月：3月、6月、7月、9月、10月、12月、1月）

・対象：教務職員を対象に勤続年数、職位別に実施

・主催：滋慶教育科学研究所

・受講研修一覧

●FDミクロ〈クラスマネジメント〉研修 令和5年7月26.27日

対象：学科職員対象

内容：支援計画とチーム支援、クラスマネジメントワークを学ぶ。

●FDミドルレベル研修 令和5年7月20日

対象：学科責任者

内容：カリキュラムマネジメントの基礎を学び、自学科のカリキュラム開発の課題発見を学ぶ。

●カウンセリング研修(1次) 令和5年9月14～15日、9月26～29日

対象：新入職員

内容：カウンセリング概要、カウンセリング基本、カウンセリング技術、カウンセリング演習  
上記各項目について学ぶ

筆記試験により合格者には認定教員カウンセラー(1次)のディプロマが付与される。

●カウンセリング研修(2次) 令和5年9月14～15日、9月26～29日

対象：1次研修終了者

内容：カウンセリング実務、ケーススタディについて学ぶ

筆記試験並びに小論文により合格者には認定教員カウンセラー(2次)のディプロマが付与される

●FDミクロレベル〈レベルアップ〉研修 令和6年1月25.31日

内容：社会からの信頼に応えることの出来る職業人教育の構築と実践のために、教職員の教育力と  
マネジメント力(マインド・知識・スキル・コンピテンシー)の組織的な向上を醸成する。

●滋慶教育科学学会 令和5年12月7日

対象：全教務職員

内容：教育実務に関する研究発表及び、教育実務に関する実地報告

●FDミクロレベル〈レベルアップ〉研修 令和6年1月25.31日

内容：社会からの信頼に応えることの出来る職業人教育の構築と実践のために、教職員の教育力と  
マネジメント力(マインド・知識・スキル・コンピテンシー)の組織的な向上を醸成する。

●滋慶教育科学学会 令和5年12月7日

対象：全教務職員

内容：教育実務に関する研究発表及び、教育実務に関する実地報告

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

評価の内容を審議・評価することを通して、学園の理念でもある4つの信頼(学生、保護者、高校、業界、地域)に基づく、学校運営の改善に活かすことを方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育成人物像
(2) 学校運営	学校運営、運営方針、事業計画、運営組織、人事・給与制度、意思決定
(3) 教育活動	教育活動、目標の設定・評価等、成績評価・単位認定等、資格・免許取
(4) 学修成果	就職率、資格・免許の取得率、卒業生の社会的評価
(5) 学生支援	就職等進路、中途退学への対応、学生相談、学生生活、保護者との連
(6) 教育環境	施設・設備等、学外実習・インターンシップ等、防災・安全管理
(7) 学生の受入れ募集	学生の募集と受入れ、学生募集活動、入学選考、学納金
(8) 財務	財務、財務基盤、予算・収支計画、監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守、関係法令、設置基準等の遵守、個人情報保護、学校評
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献、国際交流、ボランティア活動
(11) 国際交流	(10)に含む

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

評価結果は翌年度における重点課題への反映及び、自己点検・自己評価の各評価項目における到達目標設定に活用する。また、委員から上がった詳細の意見については、理事会や学内の運営会議などの意思決定機関にフィードバックされ、具体的な取り組みに落とし込んでいく。

コロナ禍の学生への様々な影響や合理的配慮が必要な学生への対応、および教育については社会背景の要請に適切してブラッシュアップし学内実習や各導入教育等、見直し・対策を立て、職業意識をもって行動できるよう全ての授業において人間教育を軸に取り組みを行う。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年5月18日現在

名前	所属	任期	種別
野田 かをり	パルファン・クリスチャン・ディオール・ジャポン株式会社 営業本部リテールヒューマンリソース マネージャー	令和3年4月1日～令和5 年3月31日(2年)	業界団体
高良 成児	株式会社クルー 顧問	令和3年4月1日～令和5 年3月31日(2年)	業界団体
浅川 潤一	千葉商科大学付属高等学校 校長	令和5年4月1日～令和7 年3月31日(2年)	高校関係
空田 真之	江戸川区葛西・西葛西メトロセンター会 代表取締役	令和5年4月1日～令和7 年3月31日(2年)	地域関係
森光 和美	株式会社トニーアンドガイジャパン スタイリスト	令和4年4月1日～令和6 年3月31日(2年)	卒業生
山下 久英	保護者代表	令和5年4月1日～令和7 年3月31日(2年)	保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) )

<https://www.tbe.ac.jp/wp-content/themes/BSC-2018/images/school/info-2020/gakko-hyoka/hyokaiin.pdf>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学内で毎年定める事業計画の実行方針において提起された目標(カリキュラムのイノベーション、中途退学防止、卒業生の離職防止等)を具体化するため、企業等からヒアリングを行い、業界の動向を踏まえた実行計画を作成している。

企業等への具体的な情報提供方法としては、業界関係者である兼任教員と教職員との間で講師会議を開催し、授業科目編成や各科目のシラバスなどについて審議を行い、そこで出た意見を実行案へと反映させている。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	各学科等の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	国際連携の状況
(11) その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) )

<https://www.tbe.ac.jp/school/info>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程ヘアメイク科) 令和5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			導入教育※	目的意識を高め、プロに必要なことが何かを認識する。同じ目的を持った仲間との相互支援環境を作る。	1前	30	2	○			○		○		
○			プロフェッショナルへの道Ⅰ	業界および職種について理解を深め、自分の目指す将来像を明確にする。プロになるために自己管理が出来るようになる。	1前	30	2	○			○		○		
○			プロフェッショナルへの道Ⅱ	業界研究と職種理解を深め、就職に必要な知識、身構え、心構えを習得する。業	1後	30	2	○			○		○		
○			プロフェッショナルへの道Ⅲ	自分の目指す将来像を明確にし、就職内定に向けた準備を行う。美容に対する興味・理解をより深め、将来美容の現場で役立つ知識を身につける。	2前	30	2	○			○		○		
○			プロフェッショナルへの道Ⅳ	自分の目指す将来像を明確にし、就業に向けた準備を行い、将来美容の現場で活躍する為の知識とマナーを身につける。	2後	30	2	○			○		○		
		○	ビューティ技術論Ⅰ※	業界で活躍するプロから最新の技術を学ぶ。	1前	30	2		○		○			○	
		○	ビューティ技術論Ⅱ※	業界で活躍するプロからヘアメイクを目指す上で、必要なスキルを学ぶ。	1後	30	2		○		○			○	
		○	ビューティ技術論Ⅲ※	業界で活躍するプロのヘアメイクから感性を養い作品作りに活かせるようになる。	2前	30	2		○		○			○	
		○	ビューティ技術論Ⅳ※	業界で活躍するプロのヘアメイク業界へ即戦力となれる技術、知識を学ぶ	2後	30	2		○		○			○	
○			アシスタントプログラムⅠ※	ヘアメイク業界について学び、現場に行けるための技術・知識・行動を身に付け即戦力なる力を身につける。	1前	30	2		○		○			○	○
○			アシスタントプログラムⅡ※	ヘアメイク業界について学び、現場に行けるための技術・知識・行動を身に付け即戦力なる力を身につける。	1前	30	2		○		○			○	○
○			アシスタントプログラムⅢ※	ヘアメイク業界について学び、現場に行けるための技術・知識・行動を身に付け即戦力なる力を身につける。	2前	30	2		○		○			○	○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			おもてなし	接客業において必要なおもてなしの心、コミュニケーションを育む。おもてなしマスター検定に合格する。	1前	30	2	○			○			○	
○			グローバルサービス	日常英会話とビジネス英会話スキルを習得する。また韓国語も習得する。	1後	30	2	○			○			○	
○			メイクアップⅠ	メイク基礎技術・知識・衛生を学びJESCメイクアップアーティスト検定に合格できるようになる。	1前	60	4	○			○			○	
○			メイクアップⅡ	テーマに合わせたメイクアップ技術を学び、舞台メイクなどの技術が出来るようになる。	1後	60	4	○			○			○	
○			ヘアスタイリングⅠ	ヘアスタイリングの基術が出来るようになる。イメージ別のヘアスタイルが作れるようになる。	1前	60	4	○			○			○	
○			ヘアスタイリングⅡ	イメージに合わせたヘア技術と成人式のヘアスタイルが出来るようになる。	1後	60	4	○			○			○	
○			ネイルケア&アート	爪の構造や衛生管理の知識、ネイルケア・カラーリングの技術が出来るようになる。ネイリスト技能検定3級に合格する。	1前	60	4	○			○			○	
○			着付け	自分で着物を着る、人に着物を着せることが出来るようになる。着付け(初伝・中伝)に合格する。	1前	60	4	○			○			○	
○			メイクアップ総論Ⅰ	メイク基礎技術・知識・衛生を学びJESCメイクアップアーティスト検定に合格できるようになる。	1前	60	4	○			○			○	○
○			メイクアップ総論Ⅱ	似合うメイクを提案できるようになる。全日本化粧品販売員検定ブロンズ合格を目指す	1後	60	4	○			○			○	○
○			ヘアメイクⅠ	ヘアとメイク、カルチャーをトータルで学び年代別のヘアメイクをデザインし、表現できるようになる。	1後	60	4	○			○			○	○
○			ヘアメイクⅡ	テーマに合わせたヘアメイク技術を短時間に仕上げる事が出来る。	2前	60	4	○			○			○	
○			ヘアメイクⅢ	テーマに合わせたヘアメイク技術を短時間に仕上げる事が出来る。	2後	60	4	○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
		○	ファッション コーディネー ト	ブライダルにおける、ドレスフィッティング技術 が出来るようになる。	2 前	30	2		○		○			○	
○			デザイント レーニング	デザイン力と発想力を養いトータルコーデ ィネート力を身に付ける	2 後	60	4		○		○			○	
○			スチールヘア メイクⅠ	ヘアメイク作品撮影を中心にヘアメイク はもちろん、画角、ポージングなど撮影 技術をトータルで習得する。	1 後	60	4		○		○			○	
○			スチールヘア メイクⅡ	野外ロケ・スタジオなど環境に合わせたヘア メイクはもちろん、画角、ポージングなど撮影 技術をトータルで習得する。	2 前	60	4		○		○			○	○
○			スチールヘア メイクⅢ	多様な撮影環境でも対応できるヘアメイク技 術を身につける。 クオリティ向上の繊細な技術を習得する。	2 後	60	4		○		○			○	○
○			ブライダルヘ アメイク	ドレスやシチュエーションに合わせたヘッド ピース及びヘアメイク技術を身につける。	2 前	60	4		○		○			○	
		○	ブライダル総 合※	ブライダルブーケや花を使ったヘッド ピース作成が出来るようになる。	2 前	30	2		○		○			○	
○			特殊メイクⅠ	傷や骨格補正藤の特殊メイクが出来るよ うになる。	2 前	60	4		○		○			○	○
○			特殊メイクⅡ	エアブラシの基本技術を学び、メイクや ボディペイントに生かすことが出来る。	2 後	60	4		○		○			○	○
○			フェイシャル エステ	フェイシャルエステにおける、セッティング方 法及びクレンジングやマッサージの基本手技 を身につける。	2 後	60	4		○		○			○	
○			美容総合技術	サロン系技術や知識を身に着けることが できる。	2 後	60	4		○		○			○	
○			パーソナルカ ラーⅠ	色彩感覚を身につけ、パーソナルカラー検 定3級に合格する。	2 前	30	2		○		○			○	
○			デザインヘア メイク	創造したイメージをヘアメイクを通じてデ ザイン出来るようになる。	2 後	60	4		○		○			○	○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
○			卒業制作	セルフプロデュース力を身に付け、卒業に向けたヘアメイク制作を行う。	2 後	60	4		○		○				○	○
		○	メイクアップ 総論Ⅲ	様々なテーマやお客様の要望にあわせたメイクアップが出来る知識と技術を習得する。	2 前	60	4		○		○				○	
		○	メイクアップ 総論Ⅳ	年齢別、嗜好別にあわせたメイクアップが出来る知識と技術を習得する。スチール撮影に適したメイク技術を習得する。	2 後	60	4		○		○				○	
		○	パーソナルカラー 応用	色彩感覚を身に付ける パーソナルカラー検定対策	2 前	60	4		○		○				○	
○			ファッション 総合Ⅰ	ブライダルにおけるドレスフィッティング技術及びショップ系コーディネート習得する。	1 前	60	4		○		○				○	
		○	ファッション 総合Ⅱ	ファッションやデザインについてコンセプトワークを習得する。	1 後	60	4		○		○				○	
		○	ファッション 総合Ⅲ	スタイリングにあわせたテクニックを習得する。	2 前	60	4		○		○				○	
		○	ファッション 総合Ⅳ	テーマにあわせてフィッティング技術	2 後	60	4		○		○				○	
		○	ヨガ	健康に基づく美容を学び、美容意識の向上とお客様に運動アドバイスが出来るようになる。	1 後	30	2		○		○				○	
		○	トータルメイク	様々なシチュエーションに合わせたメイク提案を学ぶ。	1 前	60	4		○		○				○	
		○	接客マナー	ビジネスマナー、接客マナーを習得する。即戦力となる対応を身につける。	2 前	60	4		○		○				○	
		○	ヘアメイクⅣ	最新のファッションや流行に合わせたヘアメイクのコーディネートができる。	2 後	60	4		○		○				○	
		○	スキンケア カウンセリングⅠ	お客様の肌質にあったカウンセリング技術と知識を学ぶ。様々な化粧品ブランドについて学ぶ。	1 前	60	4		○		○				○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	スキンケアカウンセリングⅡ	店頭で役立つテクニックと日本コスメティック協会対策カウンセリングロールプレイ	2前	60	4		○		○			○	
		○	スキンケアカウンセリングⅢ	日本コスメティック協会対策カウンセリングロールプレイ	2後	60	4		○		○			○	
		○	トータルセールス	カウンセリングロールプレイ 店舗管理、販売テクニック	2後	60	4		○		○			○	
		○	セルフビューティ	自分自身を磨くセルフレッスン (スキンケア～メイク)	1前	60	4		○		○			○	
		○	セルフビューティⅡ	インナービューティを鍛える。 撮影実習にて想像力を身に付ける。	2後	60	4		○		○			○	
		○	ブランド研究Ⅰ	様々なブランドの特徴を学び、 同時に発信力も身に着ける。	1後	60	4		○		○			○	
		○	ブランド研究Ⅱ	様々なブランドのコンセプトを理解し、ブランド マネジメントを身に着ける。	2前	60	4		○		○			○	
		○	ブランド研究Ⅲ	オリジナルのブランドを作成しコンセプトを提案、 ブランドプロデュース力を身に着ける。	2後	60	4		○		○			○	
		○	トータルビューティ技術Ⅰ	エステとジェルネイル技術を習得する。	1後	120	8		○		○			○	
		○	トータルビューティ技術Ⅱ	心と身体を癒すアロマの知識を習得する。 アロマセラピー検定1級対策。	2前	120	8		○		○			○	
		○	トータルビューティ技術Ⅲ	お手入れやコスメに対する正しい知識を習得する。 美肌検定対策。	2後	120	8		○		○			○	
		○	トレンドメイクⅠ	トレンドにあったメイク技術 販売員検定ブロンズ対策	1後	60	4		○		○			○	
		○	トレンドメイクⅡ	トレンドにあったメイク技術 販売員検定シルバー対策	2前	60	4		○		○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	パーソナルカラーⅡ	状況に応じた配色選択ができるようになる。	2後	30	2		○		○			○	
		○	ジェルネイル	最新のアートを学ぶ。ジェルネイル検定初級対策	2前	60	4		○		○			○	
		○	パーソナルスタイリング	パーソナルスタイリストとして師知識向上。検定対策。	1後	60	4		○		○			○	
合計					科目数 62	最低履修		1,710単位時間( 114 単位)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
定期試験及び臨時試験（論文・レポート含む）、平素の学習状況、出席状況の3要素で評価。また、所定の教科科目及び所定の授業時間数【卒業認定要件：必修1,710時間（114単位）を履修し、その成果が修了認定すべきものと認められた場合、卒業を認定する。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週